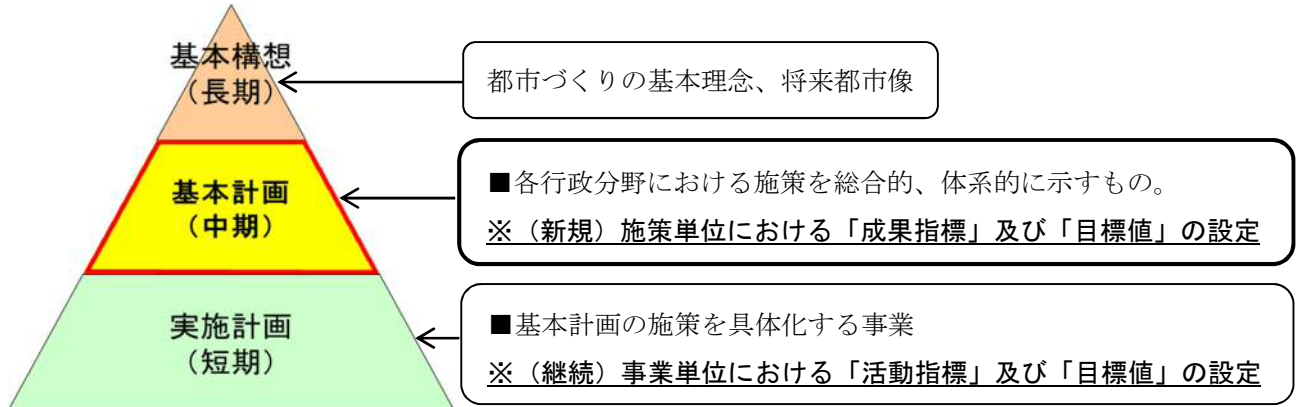


総合振興計画次期基本計画及び次期実施計画における 成果指標と活動指標について

■ 計画構成



■ 成果指標と活動指標

➤ 成果指標（アウトカム） ← 基本計画に掲載

行政活動の結果として、市民にもたらされた便益や実感など、どれだけの成果（効果・効用）がもたらされたかを表す指標

➤ 活動指標（アウトプット） ← 実施計画に掲載

資源（人、金など）を投入して、どのような活動を行ったのか、どのようなサービスを提供したのかなど、実施した活動量・事業量を表す指標

■ 成果目標の活用

- ・中長期の視点から、各分野において「目指す方向性」の実現度合いを把握するために活用する。
- ・各施策を推進するための個別具体の事業を掲げる次期実施計画について、事業の選定及び中間年の改定の際に活用する。

■ 指標のイメージ（教育・スポーツ・文化の分野）

【施策1】 希望をはぐくむ教育の推進と青少年の健全育成

目指す方向性

学校・家庭・地域・行政が連携・協力して、厳しい時代背景にあっても、ゆめをもち、希望をはぐくむ教育と、青少年の健全育成を推進します。

【基本計画における成果指標①】

全国学力・学習状況調査、「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童生徒の割合

【基本計画における成果指標②】

全国学力・学習状況調査、実施科目の合計点について、本市と大都市平均との比較

【基本計画における成果指標③】

地域の子ども・青少年が健全に成長していると感じる市民の割合

【実施計画における活動指標の例】

- ・「自分発見！」チャレンジさいたま事業への児童生徒の参加率
- ・学級等支援員配置数
- ・さいたま土曜チャレンジスクール推進事業実施校数
- ・スクールサポートネットワークの構築校数
- ・市立小中特別支援学級設置数
- ・「いのちの支え合い」を学ぶ授業実施校数